



りすくみだより

きらら保育園 令和6年2月1日発行



今年度も残り2か月ほどになりました。来年度は転園するお友達もいるため、残りの日々も楽しく、たくさんの思い出を作っていけたらと思います。最近のりす組さんは身の回りのことに興味を持ち、トイレに誘うと「いく！」と意欲的にトイレに行ったり、ズボンやオムツの脱ぎ着も「自分でやる！」と言って最後まで自分でやってみようとするなど、頑張る姿が見られます。自分でやろうとする姿を見守り、必要に応じてさりげなく手伝いながら、成長を支えていきたいと思っています。

寒さがより一層厳しくなってきました。手洗いを徹底したり、加湿をしたりしながら、健康に過ごせるようにしていきたいと思っています。また、風邪や感染症が流行しやすい時期ですので、体調の変化が見られた場合は、早めの病院受診をお願いします。



雪あそびたのしいな

雪が積もってきて大喜びのりす組さん。お部屋の中でタイヤやカップを使いながら、雪に触れて遊びました。大きなタイヤに雪を入れて見せると「きゃ〜♡」と大興奮！さっそく触ってみたり、ぎゅっと握ったりして、「つめたいね」「つるつるだね」とお話をしながら雪の感触を楽しむ姿が見られました。雪に色水を入れてみると、カップですくい、「いちごアイスです」「かきごおり、つめたいよ」とアイスやかき氷に見立て、お店屋さんになりきっていた子ども達です。体調や天候に留意しながら、戸外でも雪遊びを楽しんでいけたらと思います。



☆ こんなことしているよ ☆

指先を使うことが上手になってきた子ども達は、パズルや紐通し、洗濯バサミ遊びなどを、夢中になって楽しんでいきます。はじめは、保育者に手伝ってもらいながら遊んでいたのですが、最近では、「自分でやる！」「みてて！」と自分で行い、できるとニコニコ笑顔で嬉しそうなお表情を見せてくれています◎子ども達の自分でやろうとする気持ちや、集中力を大切にしていきたいと思っています。



1月11日(金)鏡開き&お正月遊びお楽しみ会を行いました。鏡開きでは、初めにお兄さん、お姉さんたちが行っている様子を見て、興味津々の子ども達。りす組さんの順番が来ると、張り切って木づちを持ち、頑張ってカチカチの鏡餅を開きました。午後のおやつに、みんなでおしるこをいただき、お正月の雰囲気味わいました。



お正月遊びでは、手作りコマや福笑いをして楽しみました。はじめにやり方を見せて、一緒に手を添えながら遊べるようにしていくと、だんだんとやり方を覚え、上手に指を動かしながら自分でコマを回したり、「めめ」「くち」と顔のパーツを話しながら顔の場所に貼ったりして、じっくりと楽しんでいました。

節分制作

クレヨンや絵の具を使って、鬼のお面の制作を行いました。制作することを話すと「やったー！」「やるやる！」と張り切り、クレヨンや筆に触れることに慣れてきたりす組さんは、思い思いにダイナミックに描きながら楽しんでいました。「おに、こわいよね」「あおにする」などと感じたことを話しながら、個性あふれる可愛らしいお面を作りました



～ おねがい ～

- ・歯磨き後、うがいの練習をはじめたいと思います。準備でき次第、コップを歯ブラシ入れの袋に入れて持ってきてくださるよう、お願いします。
- ・来年度に向けて、スプーンとフォークを使用していきたいと思っています。準備でき次第、持ってきてくださるよう、お願いします。
※箸はまだ使いませんので、スプーン・フォークのみをケースに入れて持ってきてください。

ようしくおねがいます

